

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB版はこちら

# 議会だより



No. 215

令和5年11月1日発行

## CONTENTS

## 9月定例会

【特集】北海道医療大学移転へ～特別委員会設置を協議～・・・p. 2

予算の使われ方を厳しくチェック・・・・・・・・・・・・・・p. 3

特集 より充実した図書館へ～司書の人材確保と働き方～  
令和4年度各会計決算審査特別委員会、各常任委員会

4人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・・・p.12

- ・動き出した風力発電建設計画
- ・魅力ある当別町のこども施策
- ・災害に強い町づくりを目指して
- ・ChatGPTを成功させるために

【特集】議員インタビュー（第2回）・・・・・・・・・・・・・・p.18

任期中に取り組みたいことや普段の姿などをインタビューしました



訪問介護サービス 一緒に料理を行う様子

特集

# 北海道医療大学移転へ

## ～特別委員会設置を協議～



9月28日 医療大移転方針説明時の様子

北海道医療大学が北広島市へ移転を検討していることが報道されました。これを受けて当別町議会では、全議員が出席して議員協議会などを開催し、北海道医療大学の移転に関する特別委員会の設置について協議を行っています。

町長

これまでの40数年の経緯を踏まえて、その絆を継承するために、当別町に踏み止まっていたいただくための協議の時間をいただきたい。そして、移転するということを撤回していただきたいという要望を提出したい。

9月26日開催

### 議員協議会

- ・9月22日の報道を受けての町の対応について町長から説明を受ける。
- ・医療大学へ提出する要望書の説明を受け、議会も賛同することを全員一致で承認。

佐藤議員

経済的・文化的影響を受ける医療大学の移転について、影響の調査と長期的なまちづくりの議論が必要。速やかに特別委員会を設置し、移転の影響、対策と将来のまちづくりについて調査するべき。

10月3日開催

### 議員協議会

9月28日に医療大から町へ移転方針が正式に伝えられたことを受けて、今後の議会としての対応を協議。特別委員会の設置時期については意見が別れる。

山崎議員

3、4年で住民が1,000人減るという大前提の中で魅力あるまちづくりをどう進めるか。総合戦略を強化して、まず今人口が増えつつある場所を積極的にカバーすることが必要。

芳形議員

去る者は追えではなくて、これからどういうまちづくりをしていかないと、この町が残るためどうしたらいいのかという議論に転化していかねばならないと思う。

10月11日開催

### 議会運営委員会

早期に特別委員会を設置することについては意見が一致。しかし、この件に関する情報がなく、不確定要素が多いことから、12月定例会をめぐり各議員が情報収集を行い、設置について協議していくことになった。

秋場議員

町の人口増加、維持に向けて一番大切なのは妊娠、出産、保育。そういう姿勢からもこの機会を利用して視点を変えたらと思う。

五十嵐議員

高齢者には、今のサービスがどうなるのか、ボランティアがどうなるのか、身近なことで悩んでいる方もいる。不安を解消していくことも大事だ。

#### ○特別委員会とは

総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会の双方にまたがる案件や、特に重要であるために特別の構成員により審議する必要がある場合、地方自治法第109条、当別町議会委員会条例第5条に基づき、議会の議決で設置される。



## 私達はここに注目しました！

## 令和4年度 各会計決算審査

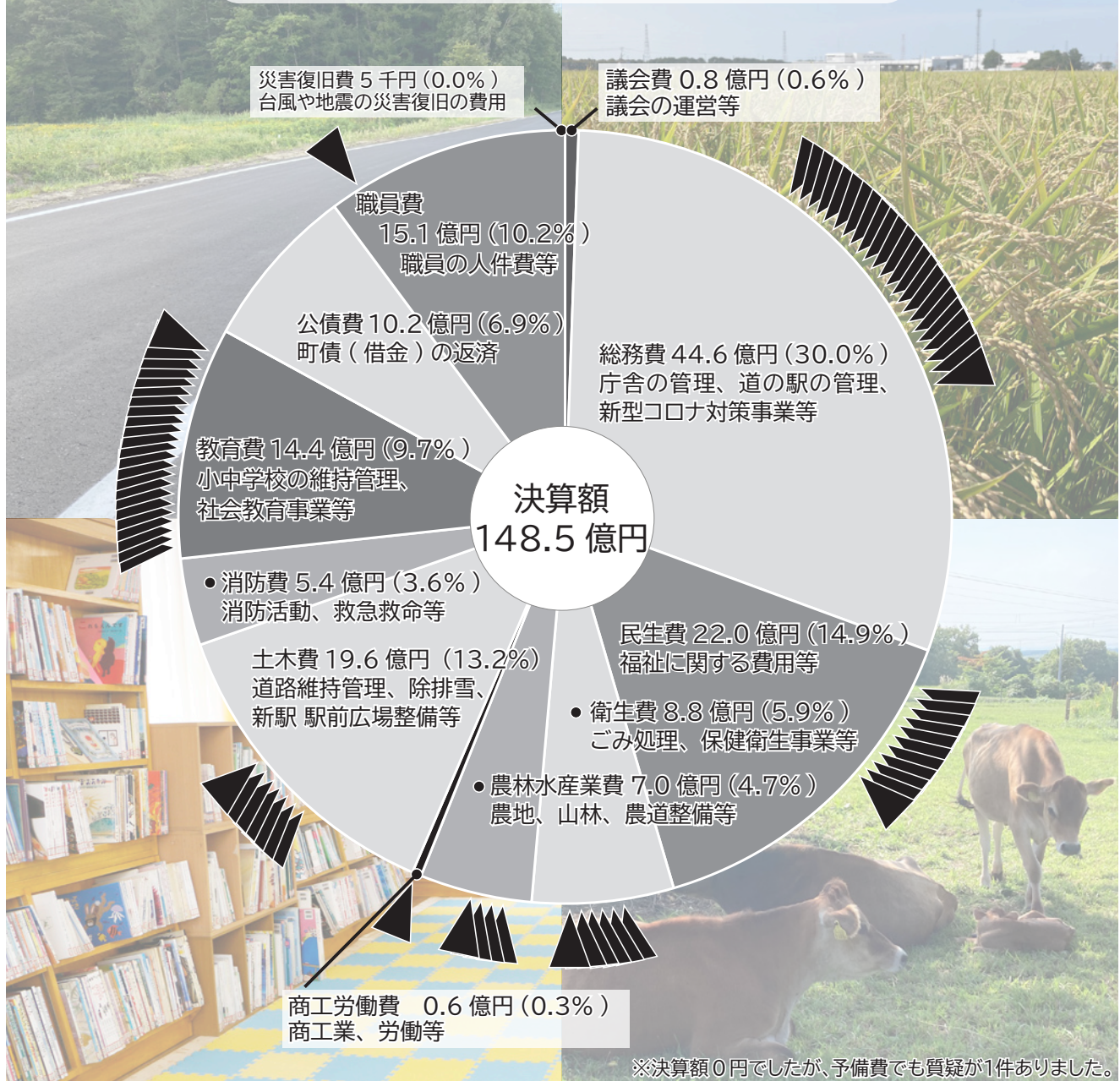


アンケート

## 一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

▶ … 決算審査で各委員が質問したところ



## 『適正な決算と認定』～決算審査特別委員会報告～

令和4年度各会計決算審査特別委員会

決算審査特別委員会  
インターネット動画配信議会だよりに掲載していない  
質疑の様子が見られます。



特集

# より充実した図書館へ

決算審査で質疑の多かった「当別町図書館の運営」について特集  
図書館司書の人材確保、図書館司書による学校図書館への指導・助  
該当する教育委員会点検・評価を参考にまとめました。



## 有資格者が減った原因は

図書館司書・情報専門員報酬 468万円

**問** 図書館職員4名のうち、1名が司書資格を持っているとのことだが、以前はもう少し多かったのでは。元々1名ぐらいだったのか、職員が入れ替わって減ってしまったのか。

**答** 以前は全員が司書資格を持っていた。職員入れ替わりの際、資格保有者の応募がなかったのが実態。現在は図書館運営に支障がないように、職員が研修等を受けて、チームで運営を進めている。



## 図書館に優秀な人材を

図書館司書・情報専門員報酬 468万円

**問** 以前、優秀な人材を集めるには非常勤も有効との話があったが、令和4年度は司書資格保有者の確保に苦労していると見受けられる。雇用方法を見直すなどの検討はしているのか。

**答** 短時間やフルタイムなど、勤務体系については検討していきたい考え。資格の有無は大きいですが、ベテランスタッフが働き続けてもらうことも、図書館運営にとって非常に有益だと考えている。



当別町図書館内部

点検項目	図書館機能の充実
4年度達成目標	貸出図書数前年比10
具体的取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>子ども読書活動推</li> <li>学校図書館への指</li> <li>主催事業の企画立</li> <li>町図書館運営のさ</li> </ol>
目標の達成状況	達成に向けて進展があ
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>ブックスタート（学1年生）での絵本により、子どもの読</li> <li>司書を学校図書館づくり、おすすめ本続き学校図書館の活</li> <li>図書館祭りやライ新型コロナの影響に子ども達から作品を行う予定である。</li> <li>利用者からリクエストの選書と蔵書の充などを行い、貸出図進を進めている。</li> </ol>
事業実施 決算額／予算額	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館司書、図書館情</li> <li>クラウド型図書館サー</li> </ul>
担当	教育委員会社会教育課

※当別町教育委員会点検・評価報告書





アンケート

# ～司書の人材確保と働き方～

を組みました。

言について質疑が多くありました。

%増
進 導・助言
案 らなる充実
った
10か月検診)、ブックセカンド(小のプレゼントや、うちどく通信の発行書活動を推進している。
へ派遣し、図書整理や、装飾、POPの展示などの支援を行っている。引き性化に努める。
ブラリーコンサートを計画していたが、より中止した。POPコンテストは、募集しており、今後審査や作品展示を
ストを取るなどニーズを捉えた購入図実、一定期間テーマを設けた企画展示書数の増加をはじめ、図書館の利用促
報専門員報酬 468万円／503万円 ビス利用料 115万円／115万円



## 学校図書館への助言は

図書館司書・情報専門員報酬 468万円



令和4年度教育行政執行方針で、学校図書館活性化のために図書館司書による指導・助言を行う方針だったと思うが、学校図書の購入に当たり、図書館司書による指導・助言は行ったのか。



学校図書の購入に関して、図書館司書が指導・助言は行っていない。学校支援としては、図書整備や排架、ポップ作成等があるが、あくまで学校主導のため司書教諭の要望に応じて行っている。



## 蔵書検索システムのデータ

クラウド型図書館サービス利用料 115万円



蔵書検索システムの書誌データは職員が手入力しているとのことだが、コードを読み込んで入力するシステムもあるのではないか。今のシステムではそのような利用はできないのか。



大きい図書館ならば、書誌データは月額数万円で購入しているが、町図書館では、規模、蔵書数、書籍購入費等から、書誌データ購入まではできていない状況のため、職員が手入力している。



## 本と出会う機会の確保を

クラウド型図書館サービス利用料 115万円



データも無料ではないので理解するが、蔵書検索は本に出会う入口であり、情報が表示されることがあると、町民が本に出会う機会に影響を与えかねない。町民から意見等は出ていないか。



特段、蔵書検索について意見は伺っていないが、ここ数年は、内容等まで図書館司書が入力して、多くの方が使いやすいサービスに取り組んでいる。今後も引き続き努めていきたい。

(令和4年11月) より一部抜粋し作成。



## より良い地域公共交通を



### ふれあいバスの朝の混雑

当別町公共交通活性化協議会負担金 3,379 万円

**問** 医療大学生の利用が多く、特に朝の当別駅発は一度では乗り切れない。JRなど他の手段もあるが、公共交通活性化協議会では、この朝の混雑へ何らかの対策を検討しているのか。

**答** 令和5年4月からダイヤを一部改正し、朝の登校時間帯の便を1便から2便へ増便した。今後の経過を見て、さらに対応が必要となれば検討する。



### フリー乗降区間の差

月形当別線運行事業補助金 1,850 万円

**問** 月形当別線とふれあいバスは金沢中小屋地区で、同じ道を通っているが、フリー乗降区間が異なる。何か問題が起きたり、意見が出たりはしていないか。区間を揃える検討はしていないのか。

**答** 問題や意見は出していない。月形当別線のルート設定の際、町道金沢線でのフリー乗降の要望があったが、国道275号での要望はなかったため異なっている。ニーズがあれば今後検討したい。



ふれあいバスのバス停に並ぶ列（当別駅前）

## デジタルと地域経済



### キャッシュレスで消費者還元

キャッシュレス消費者還元事業 2,000 万円

**問** キャッシュレス消費者還元事業は、令和4年度、令和5年度と実施してきているが、令和4年度はどのような成果が出たのか。

**答** 実施期間中の売り上げが、実施期間前に比べ200%増えたとの報告もあったため、当然、町内の売り上げ自体も伸びたと受け止めており、効果はあったと考えている。

## 地理情報システム 導入効果は



### 固定資産GISの導入効果

固定資産 GIS 構築事業 3,600 万円

**問** 固定資産税業務へのGIS導入について、現地調査の負担軽減など、行政コスト削減はどれくらい実現できたのか。

**答** 令和5年度が導入初年度のため定量的な評価に

は至っていないが、今まで地図、紙台帳、現況を照らしながら行っていたものが、事前に情報を取得して、現地ではタブレットを利用するなど、システム導入により効率的に実施できていると認識している。



### オープンデータ化は

固定資産 GIS 構築事業 3,600 万円

**問** 導入されたGISに使われている地理情報について、オープンデータ化の検討状況は。

**答** 地理情報の公開により、住民や事業者にメリットがあるならば、オープ

ンデータ化を検討しなければならないと認識。しかし、今回構築したシステムのデータは、住民のプライバシー情報も多く含まれるため、直接オープンデータとして扱うことはそぐわないと考えている。

# 子育てしやすい町を目指して



アンケート



## 保育士確保はまだ必要か

保育士等就労支援事業 1,966 万円

**問** 保育士等就労支援で一定の成果が上がっており、令和4年度は待機児童がいなかったとのことだが、町内の認定こども園の保育環境を考えると、保育士の確保はまだ必要なのか。

**答** 待機児童はゼロであるが、太美地区の人口増加に伴い子どもの数が増えており、保育士確保はまだまだ必要と考えている。町内の認定こども園にも保育士確保について促している。



## 産後ケアの対象拡大は

産後ケア事業 53万円

**問** 以前にも、生後4か月以降も産後ケアが必要ではないかと議論したが、現在の利用実績を見ると、それほど沢山ある状態ではないように思う。少し対象を拡大するなどの検討はしているのか。

**答** 訪問型も宿泊型も生後4か月までとし、令和4年度から運用しているが、4か月以降も支援が必要な方がいることを踏まえ、令和5年度から、訪問型に限り生後1年まで使えるようにした。

# 閉校後のグランドピアノは



旧当別中学校から移設したピアノ



## 旧当別中のグランドピアノ

一体型義務教育学校建設事業 7億 4,754 万円

**問** 旧当別中のグランドピアノを処分したとのことだが、買い取りなどの調査はしたのか。調律が必要かもしれないが、方法によってはいろいろと活用できると考える。その辺りは調査したのか。

**答** 業者に確認したところ、非常に古く改修できないとのことだったため、やむを得ず処分した。

少しだけ補足…  
処分した2台のグランドピアノは、昭和30年代製で60数年が経過。状態や年式から修理が不可能とのことでした。使用可能な1台のみ、とうべつ学園へ移設しました。

# 町の農業を次世代に



## 農業の担い手確保は

担い手確保推進事業 559 万円

**問** 町の地域おこし協力隊として、農業支援員2名が活動しているが、農業の事業承継のめどは。

**答** 農業支援員については、任用期間後も町に定着できるように、事業承継

を考えている農業者等とマッチングを行っている。任用期間中にマッチング先で栽培技術や経営の知識を習得し、円滑に就農できるように準備を進めている。現在は順調に進んでいると認識している。



農作業の様子





## 「当別モデル」除排雪の効果



昨シーズンの太美雪堆積場



### 太美雪堆雪場の効果

町道除排雪事業 6億 3,172 万円



令和4年度に太美雪堆雪場を開設したが、どのような効果があったか。

台から5台に、町内会の排雪日数が11日間から8日間にといった効果があった。苦情は、振動に対するものが1件あった。振動は敷き鉄板の撤去時に生じるもの大きいため、今後作業に十分留意していきたい。



令和3年度に比べ、ダンプが雪を運んで戻るまでの時間が29分から11分に、使うダンプが10

## 収入を増やす努力も



### 税収をコロナ前に

町民税 8億 5,882 万円



個人・法人町民税など町税収入額が、コロナ前の金額に戻っていないが、何故まだ戻らないか分析はしているか。

大きな増減がなく、コロナの影響はあまり出ないが、法人町民税は1.6億円減っており、原因の分析が必要と考えている。業種別では製造業において大きく目減りしているが、コロナが要因であるかは不明である。



コロナ前の平成30年に比べ、個人町民税は



### 町営住宅の賃貸収入を

住宅使用料 4,563 万円



町営住宅の入居率が6割とのことだが、入居できない人がいるのか、単に空いているだけなのか。有効利用して賃貸収入が得られるように努めてほしい。今後どのように対応するのか。



老朽化の激しい未広団地などは、令和6年度に解体予定のため、新規受付はしていない。他の団地も老朽化が進んでいるため、修繕を順次進めて、入居率を高めていきたいと考えている。

## 税の公平性を欠かないように



### 都市計画税の見直しは

都市計画税 6,078 万円



賦課区域の町民から理解を得られるか、公平性を欠かないかなどは以前から指摘しているが、令和4年度の協議はどうだったのか。区域見直しについての状況は。



用途地域を対象にしているが、区域の見直しは検討している。令和4年度、手続きを行ったものはないが、今、対象地域ではない町内会と意見交換等を行っているので、協議を続けていきたい。



スウェーデンヒルズ



# 介護サービス 収支不足の原因



アンケート



## 登録者が増えても利用減

歳入不足額 3,483 万円



訪問介護、通所介護ともに、令和3年度に比べ利用登録者数が増えているにもかかわらず、収入が減っている要因は。



利用登録者数と利用回数、利用者の介護度によ

り収支が大きく変わるため、利用者の増が収入の増となるわけではない。利用登録者は増えたが、1日当たりの平均利用者が減っているため、収入減という状況になっている。



デイサービスの送迎の様子

# 介護サービス 収支不足解消へ向けて



## 内容の充実や魅力発信

歳入不足額 3,483 万円



コロナ禍を経て、どの事業所も利用者獲得や経営改善に苦慮しているが、他事業所にはない魅力発信など、一層の努力が必要ではないか。委託先の社会福祉協議会と協議検討しているか。



利用者の増加については、毎年協議している。利用者サービスが適正かどうか等についても、ケアマネージャー等を含めて総合的に協議を行い、利用者増加や内容の充実を図っている。



## 指定変更で抜本の見直しを

歳入不足額 3,483 万円



4年連続で歳入不足が生じていることから、27名定員の通所介護事業を、定員18名以下の地域密着型通所介護事業に指定変更するなど、改善に向けて抜本的な見直しが必要ではないか。



事業者へヒアリングを行い、定員増に対応できる話も一部聞いているが、事業所によっては人材確保が難しい状況もある。町としては訪問も通所も赤字であるため、総合的に判断していきたい。



## 町営で続けられるか

歳入不足額 3,483 万円



訪問介護はセーフティネット的にやらなければならない面があるが、通所介護は町営で続けるかしっかりとした検討が必要では。状況を見ながらとのことだが、もはやその猶予はないのでは。



休廃止や定員減も含めて総合的に検討する。通所介護では、1事業所の休止に伴い、町の通所介護利用者が1日当たり約4名増となったため、収支は改善すると思うが、検討は引き続き行う。



## 切迫感を持って収支不足解消を

歳入不足額 3,483 万円



議会もいつまでも繰上充用を認めるのは難しい。5期連続で繰上充用には絶対なってはならない感覚であり、監査委員の意見も具体的である。切迫感を持って検討する必要があるのでは。



赤字続きが良いとは思っていないが、事業者へ移すことで事業者の負担が増え、継続が困難になる場合もあるため、総合的に判断していきたい。今後の状況は議会や事業者の説明していく。



アンケート

総務文教常任委員会（9/6）、産業厚生常任委員会（9/7）を開催し、9月定例会の議案などについて町から説明を受け、質疑を行いました。特に ChatGPT 実証実験、道の駅の経営状況、企業誘致に係る地下水調査について多く質疑がありました。

## さらなる企業誘致を目指して



### 西当別地区の地下水調査

西当別地区深層地下水共同調査事業負担金 1,000 万円



当別町進出を検討している企業との共同調査に、町が 1,000 万円を負担するとのことだが、事業総額はいくらなのか。どのような項目を調査するのか。調査結果は町も活用できるのか。



総額 2,000 万円で半分を町が負担する。1日あたり地下水が何トン出るかや水質などを調査する。結果は町も活用できるため、他の企業を誘致する際の資料としても活用していきたい。



### データ活用で企業誘致を

西当別地区深層地下水共同調査事業負担金 1,000 万円



調査した結果、水質や水量が確保できるとなれば、是非、この企業誘致を実現させてほしい。また、これを一つの呼び水として、他の企業も入れるように、企業誘致活動に力を入れてほしい。



今回は、念願の食品加工企業であり、またとないチャンスと考えている。地下水や地盤の状況など、町が把握できていない貴重なデータが取れる。今後も積極的に企業誘致活動を進めていく。

## 道の駅の経営安定化を



### 道の駅のコンビニ経営

㈱ tobe の令和4年度決算・令和5年度事業計画に関する書類提出



道の駅へのコンビニ出店は、㈱ tobe の経営改善につながる重要な案件で、町も一体となって動いてきたもの。今後、コンビニの経営安定に向け、町はどのような働きかけをしていくのか。



町産品を使った商品開発など売り上げにつながるよう取り組んでいきたい。㈱ tobe の経営には町も株主として責任を負っているため、コンビニ経営に関わることは今後も続くと考えている。



北欧の風 道の駅とうべつ

## 旧川下小学校を売却



旧川下小学校



### 地域の要望を条件に

町有財産（旧川下小学校）の売り払い



落札された方が今後どのように使う予定なのか確認しているか。地域の意見や要望は取り入れられるのか。

電気配線を用いての技術者育成や、キャンプ等を行い社員の福利厚生に使う予定とのこと。また、地域の要望である記念碑の存続や周辺環境への配慮等は、契約条件として付しており、落札者も了承している。



落札者は電気通信工事を行う事業者で、学校の



## 町独自の気象観測システム



アンケート

当別町にはアメダス観測所が設置されておらず、地域の気象状況が把握できていなかったことを受け、この度、町独自に気象観測システムを設置しました。白樺公園と西当別コミュニティセンターの2か所に設置し、10月1日から観測を開始しています。リアルタイムの情報は、町のホームページから確認できます。



当別町 気象観測システム（白樺公園）



詳細はこちら



### 気象観測システムと新庁舎

気象観測装置設置事業 4,545万円



**問** 気象観測システムの設置場所が白樺公園とのことだが、白樺公園は新庁舎候補地になっている。気象観測システムの設置が、新庁舎の用地検討に影響を与えないのか。担当課と調整しているか。



**答** 気象観測システムは、コンクリート支柱に観測機を付けたもので、容易に移動が可能であり、現段階の予定地には影響がないことを確認している。

## デジタル田園都市へ向けて



### ChatGPTの実証実験

ChatGPTの導入に向けた取り組み



**問** 業務へのChatGPT導入について、10月以降には本格導入することだが、どれくらいの利用料が発生するのか。



**答** 金額は使った文字数によって変わってくる。例

えば、月当たりの合計が200万文字ならいくら、300万文字ならいくらという仕様で、月額の利用料が変わるため、実証実験で職員がどれだけの文字数を使うかにより、実際の金額を決める。



### 幼児プログラミング体験

幼児プログラミング体験業務委託 240万円



**問** 5歳児を対象とした幼児プログラミング体験は、義務ではなく希望者だけの参加か。1事業につき120万円の予算が計上されているが、体験会1回分という認識で良いのか。



**答** 5歳児を対象として、希望者が参加する形で考えている。そろタッチ事業とレゴを使った事業の2種類を行う予定である。1つの事業につき2回行うため、計4回の予定である。

## ワクチン 健康被害救済



### ワクチン健康被害の認定

新型コロナウイルス予防接種健康被害救済給付金 22万円



**問** 新型コロナウイルス予防接種による健康被害認定にあたり、町が委員会を開いて審査を行っているとのことだが、今回認定された方以外には、何件の申し立てがあるのか。



**答** 今回、初めて町内の方の健康被害が認定されたが、この他に2人の方について国に進達しており、現在、国の認定を待っている状況である。町に申し立てがあった方は、全て国に進達している。

予防接種は感染を防ぐために重要なものですが、極めてまれに健康被害の発生がみられます。万が一、定期的予防接種による健康被害が発生した場合には、救済給付を行うための制度があります。



詳細はこちら



## 一般質問

よしかた ゆきお 議員  
芳形 幸夫 議員

質問の  
ねらい

### 動き出した風力発電建設計画

①畑地化二次採択の見通しと不採択者への支援策・対応策を質す。②コロナ対応について、感染者数の把握方法と町民への周知方法を質す。③現行の健康保険証の廃止について、多くの国民が反対の声を挙げて

いる。町はこの声はどう対応するのか質す。④移動が不便な地域に住む通院困難者への移動サービス提供と交通費補助について質す。⑤風力発電建設計画が進行中、風光明媚な当別町に必要なのか質す。

### ここが聞きたい 畑地化の見通しは

**問** 畑地化促進事業の1次採択がなされたが、今秋予定される2次採択に向けて、町はどのような見通しを持っているのか。

**答** 現時点で、2次採択の通知が届いていない

ため、見通しを立てるのは困難であるが、町と農協等で組織する農業再生協議会では、2次採択後に円滑に事業を進められるように、地域の合意が確認できる資料作成などの要件確認の準備をしている。



当別町の水田

### ここが聞きたい コロナ感染状況の把握

**問** コロナ感染者が増加傾向だが、感染対策緩和により収束に時間がかかるようである。町はどのように感染状況を把握して、町民や町内各機関への情報周知を図っていくのか。

**答** 1週間ごとに保健所単位で公表される感染者数により地域の状況を把握している。各機関はその数字をもって、それぞれで対応する。町民への周知は、広報紙やホームページにより行っていく。

### ここが聞きたい 現行の健康保険証継続を

**問** 現行の健康保険証廃止について、延期・撤回すべきとの世論が多いと報道されている。マイナンバーカード作成任意という観点からも、現行の健康保険証を継続すべきと考えるが、町の考えは。

**答** 現行の健康保険証廃止後も、病院にかかる際、町民が混乱しないよう国で十分に協議、検討された上で、結果が示されると考えているので、それにに基づき事務を進めていきたい。

### ここが聞きたい 通院の交通費補助を

**問** 病院へ行きたいが、交通費が大変であるとの声が多い。そのような通院が困難な人に対し、移動サービスの提供や交通費助成はできないか。

**答** 公共交通がない地域に住む人々には、不便があると認識しているが、新たな移動サービス提供や交通費補助は、対象基準を定める困難さ、施策の優先度、予算規模の点から、現時点では難しい。

### ここが聞きたい やはり反対 風力発電計画

**問** 西当別風力発電所建設問題が生じ3年が経過。景観や健康問題等から多くの町民が反対している。また、今までの対応から、疑念の多い事業であり不信感がある。改めて町の見解は。

**答** 町の意見として、地域住民の合意形成が極めて不十分であり、次の段階に進むことは容認できないとはっきり申し立てた。引き続き地域の声、議会の意向を国や道にしっかりと届けていく。



# 一般質問

さとう たつ  
佐藤 立 議員



アンケート

質問の  
ねらい

## 魅力ある当別町のこども施策

当別町では、町の特性を踏まえて、少子化対策の中でも特に効果が見込まれる分野、真に必要な対策に狙いを定めた検討をこれまで進めてきた。そして、国のこども未来戦略方針に基づく具体的な支援策の検討を

注視しつつ、効果的で魅力ある子育て支援策を見極めて実施したいとの方針を表明している。そこで、現時点の検討状況を問う。また、地域振興に不可欠な当別高校の位置付けについても確認した。



動画はこちら

### ここが聞きたい 国の何を注視してきたのか

**問** 子育て支援策の検討にあたって、町はこれまで国の検討状況を注視してきたところだが、何を注視してきたのか。

**答** 国の子ども・子育て支援に係る方針がどうなる

のか、これに伴う国の予算配分が自治体の財源確保にどう影響するのかという2点を注視している。特に当別町が抱える子育ての課題が、異次元の少子化対策に反映されるかどうかという点である。

### ここが聞きたい 当別町が目指す方向

**問** 町民や移住者に、当別に住むとここが良いと思われるように、町長として目指したい方向はあるか。

**答** 自然豊かな当別町で、子どもに次世代の教育を

受けさせたいという保護者が増えてほしい。また、地域全体をデジタルを基盤とした社会にして、多様なサービスが提供できるようになれば、新しい当別町の魅力ができてくると考えている。

### ここが聞きたい 障がい児の通学支援は

**問** 障がい児の通学支援について、2022年9月定例会以降の検討状況は。また、現時点で実現に至っていない理由は。

**答** 現行制度での移動支援拡充として、対象とする

学年、地域、期間の設定や自己負担など制度設計について検討してきた。しかし、財政状況が厳しく、町全体の施策優先度や事業規模などを総合的に判断し、やむを得ず令和5年度の予算化を見送った。

### ここが聞きたい 通学支援の優先度を問う

**問** こども政策の中でも、障がい児の町外への通学支援は、極めて優先度が高いと判断していると理解をして良いのか。

**答** どんな状況にあっても均等な教育を受けられ

ることは、誰一人取り残さないというSDGsの理念からも大変重要であると認識している。障がいを持つ方の福祉全体をどう考えるかという視点で総合的に判断していきたい。



北海道当別高等学校

### ここが聞きたい 当別高校は地域に不可欠

**問** 当別高校は欠員が多く、今後、高校の在り方について検討される想定である。当別高校は、当別町の地域振興に不可欠の存在であると考えているが、町長の所見は。

**答** 地域振興・発展に欠かせないものと認識。既存の概念にとらわれず、高校と地域との新たな連携の検討や教育プログラムに対する新たな視点を持つことなどが重要と考えている。



## 一般質問

かくた ひろすけ  
角田 広佑 議員

質問の  
ねらい

### 災害に強い町づくりを目指して

今夏の高温は、もはや異常気象ではなく、気候変動によるものが大きい。また当別町でもゲリラ豪雨が発生していることから、冬だけではなく、夏においても災害級の異常気象が発生するリスクが高まっている。

災害が発生した際の要支援者に対する対策と、今夏の公共施設の高温状態に対する執行者の姿勢や方針について質した。

ここが  
聞きたい

### 個別避難計画策定の進捗

**問** 令和3年施行の改正災害対策基本法で、災害時避難行動要支援者の「個別避難計画」策定が市区町村の努力義務とされた。町では、令和5年に着手予定とのことだが、現在の進捗状況は。

**答** 町内会等の取り組み状況や要支援者の確認など、課題整理を進めている。既に個別避難計画につながる計画を作った町内会があり、そこをモデルに、町全体の計画策定につなげていきたい。



詳細はこちら

当別町防災マップ



当別町役場

ここが  
聞きたい

### 庁舎の高温対策

**問** 今夏は、観測史上最高気温を記録するなど酷暑が続いた。役場庁舎には冷房設備がなく、来庁者をはじめ、職員の健康に影響を与えるものであった。冷涼な環境整備が急務ではないか。

**答** 次年度以降も同じような状況が続くことを見越し、公共施設に優先順位を付けて対策を講じていく。職員はもとより、公共施設の利用客に配慮した暑さ対策を実施していく。

ここが  
聞きたい

### 学校の高温対策

**問** 町内小中学校は保健室等を除き非冷房。「暑くて大変」との小学生の声を多数聞いた。児童生徒や教職員へより良い教育環境を提供するため、小中学校へ冷房設備を整備する考えはないか。

**答** 小中学校も公共施設と同様の考えである。北海道の暑さ対策は、根本的に考え方を变える必要がある。子どもたちが安全でより良い環境で学習できるように、早期改善へ向けて進めていく。



とうべつ学園内部



# 一般質問

やまざき こうじ 議員  
山崎 公司 議員



アンケート

質問の  
ねらい

チャット

## ChatGPT を成功させるために

町は、ChatGPT を業務へ活用する実証実験を7～9月に行うと発表した。成功させるために、どのような対応をしているか質した。次に、改正道路交通法が4月から施行され、自転車乗車時のヘルメット着用

が努力義務とされたが、町内のヘルメット着用状況はどうなっているか質した。最後に、子どもの体力向上や夏の健康管理のために、西当別地区に学校プールの設置が必要ではないか質した。



動画はこちら

ここが  
聞きたい

### 実証実験のゴールは

**問** 道内では一番最初に実証実験として導入しているが、実証実験はどのようになれば成功なのか基準はあるか。

**答** 実証実験にあたっては、通常業務に有効活用

できる可能性が体感できれば成功と考えている。ワードやエクセル同様、日常的に使えるようになることをゴールとして想定し、導入により、業務効率化や行政サービスの向上を図ることを目的としている。

ここが  
聞きたい

### プロンプトの重要性

**問** ChatGPT を有効活用するためには、打ち込むプロンプト（命令文）が重要であるが、詳細な内容を明確に説明できるようにするために、プロンプトに関する学習などは行っているのか。

**答** 命令文の書き方や活用方法に関する広報紙を作り、職員に啓発するほか、専門家による学習会も開催した。また、命令文の例を職員間で共有し、より活用しやすい環境づくりを進めている。

ここが  
聞きたい

### 自転車はヘルメット着用で

**問** 警察庁の調査によると、ヘルメットの着用率は、全国平均が13%に対し、北海道は6.4%であった。町として、着用義務について、どのように考えているか。

**答** 頭部を守るために、一人ひとりが自覚して着用することが必要と考える。今後も関係機関と連携しながら、自転車の交通安全啓発と、ヘルメットの自発的な着用に向けて周知を図っていく。

ここが  
聞きたい

### ヘルメットの貸与や補助は

**問** 小中学生にヘルメットの無償貸与はできないか。2,000円を補助する自治体もあるが、購入費補助のような形も検討できないか。

**答** 児童生徒へ対するヘルメットの無償貸与や購入助成については考えていない。

ここが  
聞きたい

### 西当別にもプールを

**問** 今年は暑く、町民・移住者の声として、プールの必要性が多く聞かれた。西当別地区にも学校プールの設置が必要ではないか。

**答** とうべつ学園のプールが、授業のほか地域住民に幅広く活用されているため、新たなプールを建設するのではなく、とうべつ学園のプールが、さらに活用されるよう努めていく。



とうべつ学園水泳プール



産業厚生 水稲、酪農、町道を視察  
常任委員会 8/21 町内所管事務調査

水稲の生育状況、新たに酪農が始められた牧場、改良工事が完了した町道を視察し、石狩農業改良普及センター、新規就農された酪農家、担当課からそれぞれ説明を受けました。



水稲のほ場（当別太）



酪農のほ場（高岡）



町道中小屋線（中小屋）

# 令和5年第3回定例会

日程：9月5日～15日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果  
掲載ページ

傍聴 15名 議会中継視聴回数 2,572回（10/20 現在）

## 【議員提案】

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書 ◎ -

## 【報告】

株式会社tobeの令和4年度決算及び令和5年度事業計画に関する書類の提出について ◎ -

## 【人事案件】

教育委員会委員の任命について

寺田 郷子氏が令和5年12月14日で任期満了となることから、新たに大畑 理恵氏を任命するため、議会の同意を得ようとするもの ◎ -

## 【条例】

当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴う条例の一部改正 ◎ -

## 【補正予算】

令和5年度一般会計補正予算（第2号）

3億6,367万円を増額し、総額を139億8,715万円とするもの ◎ p.10～p.11

令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

7,346万円を増額し、総額を17億9,714万円とするもの ◎ -

## 【その他】

北海道市町村職員退職手当組合理約の変更の協議について 北海道市町村職員退職手当組合理約を変更することについて協議をするため、議会の議決を得ようとするもの ◎ -

【決算認定】※下記2議案は令和4年度各会計決算審査特別委員会へ付託

令和4年度各会計歳入歳出決算認定について

一般会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定を求めるもの 付託 p.2～p.9

令和4年度水道事業会計決算認定について

水道事業会計の決算認定を求めるもの -

## 【委員会報告】

令和4年度各会計決算審査特別委員会報告

付託された案件を「原案のとおり認定すべきものと決定した。」と報告 ◎ p.3

## 議員研修

### 当別町・新篠津村合同研修会

8/22 石狩町村議会議員研修会

新篠津村議会の皆様と合同で研修会を開催しました。研修では、北海道町村議会議長の参与を務める勢旗了三氏を講師に迎え、「地方議会の当面する課題～著作権とハラスメント問題の対応～」を演題にご講演をいただきました。



講演の様子





アンケート

【請願・陳情】	
《令和5年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 「2024年度地方財政の充実・強化に関する意見書」の採択を求める陳情について 【提出者】自治労北海道札幌地方本部 執行委員長 鈴木 賢一 他1団体 ※十分な地方一般財源総額の確保などを求めるもの	採択
《令和5年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 安心、安全な地域医療体制を支えてきた既存医療機関の存続のための支援策に関する陳情書 【提出者】田園通りさわぎき医院 澤崎 兵庫 他署名者6名 ※老朽化した医療設備の更新費用の支援などを求めるもの	趣旨採択
《令和5年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 月形当別線バス「とべる号」運行に関する請願書 【提出者】金沢子ども育成会 会長 服部 実香、担当 隅田 陽子 【紹介者】当別町議会 議員 佐藤 立 ※とうべつ学園の部活動に合わせた時間帯での運行などを求めるもの	継続審査
《令和5年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 現行の健康保険証の廃止方針を撤回することを求める意見書の採択を求める請願書 【提出者】新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 【紹介者】当別町議会 議員 芳形 幸夫 ※現行の健康保険証の廃止方針の撤回を求めるもの	継続審査

請願・陳情の基本的な流れ

請願  
町議会議員の紹介がある意見や要望  
陳情  
町議会議員の紹介がない意見や要望  
(※郵送されたものは写しを各議員に配布)

請願者 陳情者  
議会事務局へ  
事前連絡・日程調整



請願者 陳情者  
議長へ  
請願書・陳情書提出

※原則、定例会初日の2週間前まで  
(会派代表者会議前日まで)



議長  
本会議で委員会へ付託



付託された案件の審査

【審査結果】

- ・採択
- ・趣旨採択
- ・不採択

※継続審査の場合は引き続き委員会でも審査します



議会  
本会議で討論・採決



議長  
請願者・陳情者へ  
結果通知

- 【記載事項について】
- 1 提出年月日、件名、趣旨を簡潔に記載してください。
  - 2 宛名は「当別町議会議長〇〇〇〇」としてください。
  - 3 請願（陳情）者の住所を記載し、請願（陳情）者が署名または記名押印してください。
  - 4 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印も必要です。

※ご不明点などありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

総務文教 令和5年度の食育推進事業を調査  
常任委員会 8/24 町内所管事務調査

当別町学校給食センターにて、令和5年度の食育推進事業について調査を行いました。学校給食の運営や特別給食、食育授業などについて、担当課から説明を受けた後、実際に給食を試食してきました。



←当日のメニュー

試食の様子→



# 【特集】 議員インタビュー(第2回)

議会広報特別委員会では、町民に寄り添った身近な議会を目指す上で、改めて議員についてよく知ってもらう必要があると考え、この度、議員へのインタビュー記事を企画しました。

第214号から第216号の3回にわたり、議席番号順に5人ずつインタビュー記事を掲載して、各議員を紹介していきます。

今回は、佐藤 立 議員、西村 良伸 議員、五十嵐 信子 議員、山崎 公司 議員、秋場 信一 議員 のインタビューです。

さ とう たつ  
佐 藤 立



町有林の研修にて

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 「子どもにやさしいまち、みんなにやさしい」を軸に、誰もが当事者として参画できるまちづくりです。当別町は、札幌の社会インフラを活用して、暮らしやすい町を目指すのが合理的。特に子どもの育ちと学びの環境整備を最重点とした地域社会を目指しています。

Q. 具体的には何に取り組みたいですか。

A. 野外遊びの推進、ファミサポの対象拡大、産前・出産・産後の継続ケア、ふれあいバスの利便性向上の4つです。医療大の移転は、この変化を有意義なものとするために、私たちのまちをどうデザインするのか、という議論が大切です。



にし むら よし のぶ  
西 村 良 伸



当別町の未来を創造するために挑戦します。

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 「持続可能なまちづくり推進として」①環境に配慮し、少子高齢化社会に適応した当別町を創ること、②農業、林業の活性化と再生可能エネルギーの活用を進めること、③新庁舎建設、子育て住宅や新築住宅建設支援などまちづくりの継続。「安心して暮らせるまちづくりの推進として」①子育て世帯、働く世帯、高齢者世帯が必要とする生活支援の実現、②医療施設、介護施設等の確保、命と健康を守る対策を進る、③除雪対策強化やコミバスなど住民の足（救急搬送を含む）の確保。「議会改革の推進として」①町民に開かれた議会となるよう先進的で他町に負けない取り組み、②少数精鋭の議員数と質の高い議会活動が展開できる議会に、③議決権を行使し、ふるさと納税などの貴重な財源の有効活用。以上について、議員としてこれから4年間、課題の解決に努めて参ります。





い が ら し の お こ  
五十嵐 信子

ひまわり大好きです～

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. これからも女性の視点から、地域の方々と互いに支え合い、安心して暮らせる「まちづくり」に取り組みます。住み慣れた町で、自分らしく人生の最後まで暮らし続けられるよう、包括的な支援の構築、暮らしやすい環境づくりに努めて参ります。

Q. 心掛けていることは？

A. 町民の皆さんから頂く相談には、今まで声を上げられずにいた多くの思いが詰まっていると日々学ばせて頂いています。じっくりと話を聞くことを心掛けています。これからも一人一人に寄り添い、切実なお声を大切に町政に届けていきます。



アンケート

や ま ざ き こ う し  
山 崎 公 司

毎朝散歩の基線川にて

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 活気に満ちた住みたい町を目指し、コンパクトシティの促進として、当別・太美・ロイズタウンの各JR駅周辺の再開発に取り組みます。また、人口減少対策として、町内に関りある関係人口に着目し、定住人口の増加を図ります。

Q. 新しく取り組みたいことは？

A. 子育てにふさわしい環境づくりとして、西当別地区に小中一貫校の早期実現を推進します。確かな「学力・体力向上の定着」に向け、積極的に関与します。

あ き ば し ん い ち  
秋 場 信 一

よそ見るネコに苦労

Q. 任期中に取り組みたいことは？

A. 持続可能な町というのは、人口獲得につながる取り組みが中心です。商業地区の交流人口の増加、公共施設との連携や誘導地区である学校周辺の住環境の整備により、新たな移住推進を目指し、まちなかに賑わいをつくる取り組みはこれまでも行ってきましたが、これからも進めていきたいです。

Q. 新しく取り組みたいことは？

A. 北海道医療大学の移転報道により、根本から変わっていくまちづくりについて、町全体で知恵を集めて依存しない方向性を見出していきたい。また、在住人口の減やそれに伴う需要縮小が及ぼす経済面の影響を最小限にとどめるための取り組みを共に考え、進めていきたいです。



次回は、山田明議員、古谷陽一議員、島田裕司議員、

稲村勝俊副議長、高谷茂議長のインタビューです。

## 議会のうごき（令和5年8月～10月）

8月 3日	議会運営委員会	9月 15日	議会運営委員会 議員協議会 令和4年度各会計決算審査特別委員会
7日	群馬県藤岡市議会行政視察来庁		第3回定例会 議員協議会
9日	長沼町議会行政視察来庁		議会広報特別委員会
10日	埼玉県越谷市議会会派行政視察来庁 産業厚生常任委員会	26日	議員協議会
21日	会派代表者会議 産業厚生常任委員会町内所管事務調査	27日	長野県千曲市議会行政視察来庁
22日	石狩町村議会議長会議員研修会	29日	議会広報特別委員会
23日	室蘭市議会会派行政視察来庁	10月 3日	議員協議会
24日	総務文教常任委員会	5日	倶知安町議会行政視察来庁
25日	宮城県大崎市議会行政視察来庁	10日	議会広報特別委員会 幕別町議会行政視察来庁
29日	議会運営委員会	11日	議会運営委員会 新ひだか町議会行政視察来庁
9月 5日	議会運営委員会 議員協議会 第3回定例会 議会広報特別委員会	17日	宮城県東松島市議会会派行政視察来庁
6日	総務文教常任委員会	18日	議会広報特別委員会
7日	産業厚生常任委員会	19日	豊富町議会行政視察来庁 愛媛県宇和島市議会会派行政視察来庁
12日	第3回定例会 議員協議会 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会	25日	秋田県大仙市議会会派行政視察来庁
13日	令和4年度各会計決算審査特別委員会	27日	高知県室戸市議会行政視察来庁
14日	令和4年度各会計決算審査特別委員会		

## 読者 WEB アンケート

読者 WEB アンケートを実施します。各ページを評価する簡単なものです。各ページ上部の二次元バーコードからも回答できます。今後の参考としますので、ご協力よろしくお願ひします。



※ 北海道電子自治体共同システムを利用しています。

## 質疑ごとの動画が見られます

各質疑の左上に、その質疑が行われたシーンの動画が見られる二次元バーコードを掲載しました。録画配信から該当部分を探さずに見られます。ご活用ください。

### 【注意】

各質疑に付した二次元バーコードのリンク先は、当議会のホームページではありません。アクセス等により何らかの損害等が生じても当議会は一切責任を負いませんので、ご注意ください。注意点は、当議会ホームページ「議会中継-「注意（免責）事項」」をご確認ください。

## 編集後記

今までにない夏の暑さをひきずりながら、9月定例会が開催されました。この定例会の中で決算審査特別委員会が開かれ、令和4年度の決算について、新人議員3名を含めて活発な質疑が行われました。

9月下旬には北海道医療大学が2028年4月をめどに北広島市に移転することが発表されました。町民からは驚きと不安の声が多く聞かれ、また、いろいろな意見も聞こえてきています。その影響を見定めて対策を講じ、力を合わせて新しい当別町を築いて参りたいと思います。

議会広報特別委員会副委員長 佐々木 常子

## 12月定例会のご案内

### <12月定例会>

予定 12月5日（火）～12日（火）  
内容 補正予算審査、一般質問 など  
※本会議や委員会の傍聴が可能です。

### 議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

## ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

### 議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9  
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474  
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

## 議会広報特別委員会

委員長	佐藤 立
副委員長	佐々木 常子
委員	櫻井 紀栄
委員	芳形 幸夫
委員	海野 学
委員	角田 広佑